



# 福山西ロータリークラブ 例会情報



( 2020~2021年度 )

[ 第1417回例会 ]-(07)

会長 佐藤 教夫 幹事 瀬尾 義裕

クラブ会長テーマ

「ひろげよう、ロータリーの輪を」

日 時 2020年9月1日(火)  
12:30~13:10  
場 所 福山ニューキャッスルホテル  
例会行事 点鐘・ソング「君が代・奉仕の理想」  
ゲスト・ビジターの紹介(出席報告参照)  
食事

例会情報 [会 長 報 告](#)  
[幹 事 報 告](#)  
[出 席 報 告](#)  
[S A A 報 告](#)  
[ス マ イ ル 報 告](#)  
[プ ロ グ ラ ム 情 報](#)  
・委員会行事(ロータリー情報委員会)  
[そ の 他 報 告](#)  
・“ロータリーの友”誌紹介

その他情報 [メークアップ情報\(来週分\)](#)  
[メークアップ情報\(再来週分\)](#)  
[今 後 の 行 事 予 定](#)  
[ク ラ ブ 活 動 報 告](#)

\*Ctrlキーを押しながらクリックするとそのページが表示されます。

## 【 会 長 挨拶 】

本年度4回の実施を予定しております、戦略会議につきまして、少し事前に報告させていただきます。1回目が9月15日に予定されております。

この戦略会議は、私が入会してからは開催された記憶が無いものですから、どう進めて行けば良いのかよくわかりませんが、私なりに進行させていただきますので、不備な点多々あるかも知れませんが、ご容赦下さい。

1回の戦略会議で1つのテーマで進めますが、今日は、あらかじめ皆様に事前にそれぞれのテーマについて、お知らせして、幅広い意見をお願いしたいと考えています。

この戦略会議は「2020-21 年度 RI 会長テーマと地区運営方針」の中で、年次目標として、4項目掲げられたうちの1つです。

「すべてのクラブは毎年、すくなくとも一回の戦略会議を開き、皆様には次の事を会員に問いかけていただきます。「① 私たちのクラブは5年後にどのようなクラブになっているべきか」また、② このビジョンを達成するためにどのようなステップを踏むべきか」「③ 私たちのクラブで、会員はどのような価値を得ることができるか」この会議を進行する人を選んで下さい。」

とあります。不肖、私がこの進行役を務めさせていただきます。

昨年度の長期ビジョン検討委員会から

- 1、 会員増強
- 2、 会員に対する研修会の開催
- 3、 委員会、同好会の活動の活発化
- 4、 例会出席・例会の在り方について

という4項目についての提言がありました。

また、以前より皆様より意見のありました事なども参考にしながら、本年度は次の4つのテーマに絞って、検討してまいりたいと考えております。

### 1回目(2020.9.15) 例会出席とメイクアップの在り方について

昨年度から問題提起されておりました。また、長期ビジョン検討委員会の提言でありました電話だけの形式的なメイクアップについては廃止して、実質的な出席率向上を目差すべきと考えます。

60%ルールや出席率30%以上、4回連続休まない件、色々な救済規定なども再確認の必要があるかも知れません。本来 100%出席は大変な努力も必要ですから、クラブ独自の表彰制度なども考えてみたら、とも考えています。

### 2回目(2020.12.1) 予算に合わせた行事を計画

担当している行事の量が、委員会ごとにバラつきがあり、平均化できないか。

予算不足の割に行事が多すぎないか。

永年続けている奉仕事業について、その意義と予算、効果の検証。

今後の奉仕事業について。

### 3回目(2021.2.2) 個人負担が多すぎるという意見(会員増強にも影響)

地区大会、IM、周年行事などで、登録料などを強制される。

スマイルボックス内規を少し検討してはどうか。いらぬ物を贈られる。

米山奨学会には協力したくないという意見。2020年度で、約半数を中国、韓国で占める。

累計でもこの2か国が半数以上を占めており、最近、韓国は減る傾向にあるようですが、今までここまでして、何か良い事はあったのでしょうか。

#### 4回目(2021.4.13) 同好会、委員会の活性化(退会防止の対策一つとして)

私の様に、ゴルフも釣りもできませんし、自転車ももう50年近く乗っておりません。もう少し色々な同好会があればと思います。以前 RLI の研修会で聞きましたが、日本酒の飲み比べ同好会とか、面白い事やっているなあと、感心した事があります。

全員参加の委員会活動をどの様に実現するか。長期ビジョン検討委員会からも提言が有りました、会員向け研修会もテーマを設定し、開催できたら、もう少しロータリーに対する理解も進むのではと思います。皆様の意見を集約して、来期に向けて実現できればと思います。

以上のテーマを通して、5年後のクラブ像を考えてみたいと思います。  
来年度に向けての指針となればと考えますので、どうぞよろしくをお願いします。

[表紙へ](#)

## 【 幹 事 報 告 】

No.	内 容
1	第 2710 地区事務局より ・ロータリー文庫からのお願い ・財団室 NEWS 9月号
2	ロータリーの友事務所より ・新型コロナウイルス感染症に関する友事務所対応の件
3	グリーンラインを愛する会 ・会報
4	

[表紙へ](#)

# 【 プ ロ グ ラ ム 情 報 】

【委員会行事（ロータリー情報委員会）…ロータリー情報委員長 松井 宣久】

## 『友』のあゆみ

今日は、ロータリーの友委員会地区代表委員をされています、東 佳範（防府ロータリークラブ）に卓話をさせていただく予定で、理事会にも承認していただいていたのですが、昨今のコロナの蔓延により県外への出張を禁止にされたそうで、キャンセルになりましたので、急きょ、いただいた資料をもとに私が、簡単に話をさせていただくこととしました。よろしくお願ひします。

毎月届くけど、知っているようで知らない、『ロータリーの友』の創刊の経緯から現在に至るまでの歩みを紹介したいと思います。

### 新しい雑誌の発行が決定

1952-53 年度から、一つだった日本の地区が東日本と西日本の 2 地区に分割されました（現在は 34 地区）。

これまで共に活動をして来た日本のロータリアンが、分割されてからも緊密に連絡を取り合い、情報を共有するために、日本の 2 地区での共通の機関誌を発行することが、1952 年 4 月 25 日に大阪市で開かれた地区大会で決定されました。

『友』誌は、日本のロータリアンの絆の証しなのです。

### 『ロータリーの友』と命名

雑誌の名前は、岐阜ロータリークラブの遠藤健三氏の提案された「ロータリーの友」が投票の結果決定されました。遠藤氏の話では「主婦の友」からヒントを得たとのことでした。

その他、毎月発行すること、価格を 50 円とするが、広告を取って 100 円分の内容のある雑誌とすることが準備会で決定されました（現在は税抜 200 円）。

また、新しい雑誌を縦書きにするか横書きにするかで意見が分かれ、全会員による一般投票を行ったところ、2 対 1 の割合で、横書きが採用されることになりました。

戦後 10 年もたっていなかったという時代背景を考えると、この結果は、当時のロータリアンが、いかに先進的な考えを持っていたかを知ることができるエピソードです。

創刊号は富士山の表紙です。北斎の版画「凱風快晴」という題の作品です。

### 表紙が 2 つに

最初、横書きでスタートした「ロータリーの友」ですが、その後、俳壇、歌壇など、横組みでは具合の悪い欄が始まり、これらを縦書きで入れることになりました。（縦組みは、日本のロータリアンの懸け橋となる投稿記事が中心）

1972（昭和 47）年 1 月号から、横書き、縦書きを分けて、それぞれに表紙をつけました。両面が表紙になった最初の号の表紙は陣羽織で、横書きは前から見たところ、縦書きは後ろから見たところ、というように、両面表紙の特徴を生かした面白いものになっています。

この時にはまだ日本独自の雑誌で R I には地域雑誌はまだありませんでした。

### 国際ロータリー公式地域雑誌に

1977 年（昭和 52 年）、標準ロータリークラブ定款第 10 条（現 17 条）の改定に伴い、公式地域雑誌（現ロータリー地域雑誌）の規定が設けられました。

これにより、ロータリアンは、国際ロータリー（R I）の機関誌『The Rotarian』だけではなく、R I が指定した公式地域雑誌を購読することで会員としての義務を果たすことができるようになりました。

『ロータリーの友』は1年間の試験期間を経て、1980年（昭和55年）7月号から（創刊から約30年）、ここで初めてR I 公式地域雑誌になりました。

今現在世界で『友』誌を含めて32誌の地域雑誌が発行されていますが、『友』誌の発行部数は92,100部で地域雑誌としては世界で二番目に多い部数です。（ちなみに、最も多いのはインド・バングラデシュ・ネパール・スリランカ地域の121,970部です。

「ロータリー地域雑誌」の要件の一つに『The Rotarian』（アメリカ・イリノイ州エバンストンにあるR I 世界本部に編集部があります。）から指定された記事を掲載しなければならないという項目があります。

写真を郵送していた頃には同時掲載は不可能でしたが、IT技術の進歩に伴い、2004年（平成16年）からは、これらの指定記事が『The Rotarian』と同じ月に掲載できるようになりました。

以前にも説明しましたが、指定記事は横目次に青色白抜きで、R I と表示されています。この記事は世界のロータリアンが読んでいます。クラブがR I と直結していると実感できる部分であります

その表示以外でも青字で THE ROTARIAN 月号からと目次に書かれた記事がありますが、これは『友』誌が単独で THE ROTARIAN から選んで掲載しているものだと思います。

#### 組織概要

ロータリーの友委員会と一般社団法人ロータリーの友事務所

『ロータリーの友』は、一般社団法人ロータリーの友事務所によって発行、運営されています。社員、理事会（代表理事、理事、監事、相談役）、職員により構成されています。

『ロータリーの友委員会』は、ロータリー地域雑誌発行の不可欠な条件の一つとして設けられている委員会で、正・副委員長、R I 理事、R I 理事エレクト、特別顧問、顧問、相談役、地区代表委員、編集長により構成されています。（メンバーは、毎号の横組み目次に掲載）

『ロータリーの友委員会』委員長は地区ガバナーに対して『ロータリーの友』発行にについて責任を負うと同時に、一般社団法人ロータリーの友事務所を包括的に監督します。

「ロータリーの友委員会」と「一般社団法人ロータリーの友事務所」同じところにあり、東京都港区にあります。

#### 『友』の編集方針

『ロータリー章典』に定められた「ロータリーの地域雑誌は、ロータリーのあらゆる面にわたってロータリーの目的を推進するために存在する」を順守し、編集方針を定めています。

『ロータリーの友』は日本のロータリー34地区のロータリークラブ会員のためのロータリー地域雑誌として、R I の方針や全世界のロータリアンならびにロータリークラブの活動を国内の会員に紹介して海外のロータリー活動に対する興味を高め、国内の地区・ロータリークラブ及び会員の活動状況を紹介して親睦を図り、また国内外における各種ロータリー情報を掲載することによりロータリー精神の養成、ロータリー活動の発展に寄与することを、発行の目的としています。

『ロータリーの友』の基本方針、年間編集企画などについては、毎月の一般社団法人ロータリーの友事務所理事会が決定し、ロータリーの友委員会が監督します。地区代表委員は、委員会への出席、毎月提出のレポートでの『友』に対する評価・提言、委員会事業の地区への広報、地区

内のクラブの活動に関する情報の提供などを主な任務としています。

「ロータリーの友」誌は、ロータリアンがロータリーライフを深めるためにも、またクラブがRIと直結していると実感するためにも必要な媒体です。これを機会に『友』誌を活用してロータリーを知っていただきたいと思います。

ロータリアン以外の方が読まれても、ロータリーの理念や活動が分かるように編集されていますので、会員増強にも役立てていただきたいと思います

以上

[表紙へ](#)



# 【その他報告】

【“ロータリーの友”誌紹介…ロータリー情報委員会 藤井 彰人】

[ロータリーの友]誌 9月号紹介

地域雑誌である「ロータリーの友」誌は「機関雑誌」と定義されていますが、9月は、基本的教育と識字率向上月間に併せ「ロータリーの友」月間とされています。

◆先ず横目次7ページ「読感表選」の中に基本的教育・識字と聞けば海外の問題と思いがちですが、OECD（経済協力開発機構）が2018年に行なった国際学習到達度調査によると、日本の15歳の若者たちの「読解力」は、世界15位に低下、2012年から低下し続けているとのこと。

ドイツの哲学者ショーペンハウアーは、「読書とは自分の頭ではなく他人の頭で考えること」と述べ「読むことに加え」「感じて」自分の考えを言葉や文章で「表せる」ようになることが大切で、さらには不確かな情報があふれる現代の状況から正しく情報を「選択」出来るかどうか問われていると言われています。

そうした能力を若者たちが、いかに獲得していくかサポートする国内のロータリークラブの活動が掲載されていますので、是非ご一読ください。

◆また、18~19ページには、世界で30以上あるRIから認可された機関雑誌表紙が載せられていますが、それぞれの地域の個性が表現され興味深いものです。

◆続いて縦目次16ページの「友愛の広場」には、「福山の至宝・松本卓臣氏100歳を迎える」と題し地区ガバナーやRI理事財務長等数々の要職を務められたロータリーの大先輩松本氏の紹介が掲載されています。

今から100年前、1920年に日本にロータリークラブが誕生した年にウブ声をあげられ、今年で日本のロータリー誕生と同じお歳をお迎えになりました。

◆同じく縦目次21ページ「ロータリーアットワーク」には、我が福山西ロータリークラブと同じ年に創立した「広島陵北ロータリークラブ」が創立30周年記念事業として「錦鯉」を広島城内堀に放流した記事が載せられています。

◆「ロータリーの友」7月号に、鈴木「ロータリーの友」事務所代表理事が寄せられた「ロータリーの友」を「心の友」と述べられ、編集に工夫を凝らし真摯に出版を続けたいと述べられていますが、これからも「心の友」として是非ご愛読いただきたいと思います。

[表紙へ](#)